

### ニボルマブ(オプジーボ)+カボメティクス療法(2週毎)

患者番号:                  氏名:                  性別:                  年齢:

がん種 (適応)	腎細胞癌		
開始年月日	年	月	日
1 コース期間	14 日間		
体格	身長	cm	体重                  kg                  体表面積                  m <sup>2</sup>
嘔気・嘔吐リスク	最小度	制吐剤	なし
特記事項			

投与薬剤	投与量	投与時間	投与スケジュール
オプジーボ	240mg (mg/body)	30分	Day1
カボメティクス	1回 40mg 1日1回	経口	連日服用

#### 【処方が必要な内服薬】

カボメティクス錠 (20) 2錠 1×空腹時  
(食事の1時間前から食後2時間までの間の服用は避ける)

- HBs 抗原(+) → 消化器内科紹介
- HBs 抗原(-) → HBs 抗体(-)and HBc 抗体(-) → HBV-DNA 定量(-) → 3ヵ月毎 定量
- HBs 抗体(+), HBc 抗体(+), or HBs 抗体(+), HBc 抗体(+), and HBV-DNA 定量(+) → 消化器内科紹介

指示医師サイン \_\_\_\_\_

免疫チンキ剤併用薬 副作用対応連携シート

副作用	主な自覚症状	検査項目	ヘーヌライン (投与開始時)		モニタリングの目安	専門医へのコンサルトのタイミング		
			実施	投与時				
間質性肺炎	発熱、空咳、息苦しい、息切れ	胸部X線	○	○	投与時	左記の <b>自覚症状</b> が発現した場合、左記 <b>検査項目</b> の <b>異常</b> が認められた場合には、直ちに相談下さい。		
		胸部CT	○	○	疑い時			
		KL-6 SP-D	○	○	2か月毎に2回			
内分泌障害	<b>甲状腺機能低下症</b> ：身体がだるい、体重増加、徐脈、便秘、食欲低下など <b>甲状腺機能亢進症</b> ：汗をかきやすい、体重が減る、甲状腺のはれ、胸がドキドキする、手の震え、不眠、発熱、下痢、振戦、食欲低下 <b>副腎機能不全</b> ：身体がだるい、意識がもうすれる、考えがまとまらない、嘔吐、むくみかする、食欲不振、低血圧、脱力感 <b>副甲状腺機能低下症</b> ：手足の筋力の痙攣、手足口の周りなどのしびれ	TSH・FT3・FT4	○	○	月1回	<b>【甲状腺】</b> 甲状腺機能低下症、甲状腺機能亢進症、副甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症の発現は、 <b>自己抗体陽性で症状発現時はコンサルト</b> <b>【副腎】</b> ACTH・コルチゾールを測定した際、 <b>コルチゾール低値の場合にコンサルト</b>		
		抗チロトロピン抗体 抗TPO抗体 TSHレセプター抗体 iPTH	○	○	○		疑い時	
		ACTH コルチゾール	○	○	○		月1回	
		排便回数 腹部CT 大腸内視鏡検査	○	○	○		○	投与時 疑い時
		CPK	○	○	○		○	投与時
大腸炎 重度の下痢	下痢（軟便）もしくは通常よりも頻回の便通、血便もしくは黒クゲール便で粘着質の便、重度の腹部痛もしくは肛門痛	ACHR抗体	-	-	疑い時	<b>Grade2以上の下痢、排便回数の増加が認められた場合</b> <b>（ヘーヌラインと比べ4～6回/日以上）の排便回数増加</b> <b>腹痛・下血・便失禁・発熱に特に注意</b>		
		HbA1c カリウム $\geq 3$ 血糖 検尿（尿タンパク体） C反応性蛋白	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	月1回 疑い時 投与時 疑い時			
重症筋無力症 筋炎	<b>重症筋無力症</b> ：上まぶたが下がる、物がぼけて見える、飲み込みにくい、しゃべりにくい、呼吸困難 <b>筋炎</b> ：身体に力が入らない、発熱、飲み込みにくい、息苦しい、発疹、筋肉の痛み	ACHR抗体	-	-	疑い時	<b>目から下がってくる（眼輪下垂）</b> <b>飲み込みにくい（嚥下障害）</b> 症状発現時 <b>あるいは、CPK1000IU/L以上の場合にコンサルト</b>		
		HbA1c カリウム $\geq 3$ 血糖 検尿（尿タンパク体） C反応性蛋白	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	月1回 疑い時 投与時 疑い時			
1型糖尿病	<b>糖尿病</b> ：身体がだるい、体重減少、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える <b>糖尿病性ケトアシドーシス</b> ：意識の低下、悪心、嘔吐、腹痛	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	○	○	投与時	<b>Grade2以上の皮膚障害</b>		
皮膚障害	湿疹、かゆみ	AST ALT γ-GTP ALP T-Bil D-Bil LDH	○	○	投与時	<b>Grade2以上の皮膚障害</b>		
肝障害	倦怠感、黄疸、嘔吐・嘔気、食欲不振、そう痒感	HBs抗体・HBc抗体 HCV抗体	○	○	○		<b>左記の自覚症状の発現、又はGrade2以上の肝機能障害が認められた場合にコンサルト</b>	
心血管障害	心不全、心筋炎、心房細動、深部静脈血栓	PT APTT フィブリノーゲン 心筋トロポニンT NTproBNP Dダイマー FDP 心エコー 心電図	○	○	○	<b>左記の自覚症状の発現、又は検査値の異常時にコンサルト</b>		
眼障害	充血、霧視、羞明、眼痛	Na K Cl Ca P TP ALB UA AMY BUN Cr 血球算定（CBC） γグロブリン	○	○	○	<b>左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト</b>		
その他			○	○	○	<b>左記の自覚症状が発現した場合にコンサルト</b>		

※検査オーダーは検査セット、統合セットを作成していますので、そちらより使用して下さい

死亡例が報告されています。早急に専門医へのコンサルトをお願いします